

教師を目指し、教職課程を履修する皆さんへ

—北星学園大学における教員養成の理念と目標—

教職部門長 古谷 次郎

2019年度入学生の皆さん、入学おめでとうございます。将来、教師になりたいと思い、本学教職課程の履修を始めようとする皆さんを、教職部門のスタッフ一同、心から歓迎します。これからの4年間で、教員免許を取得するために必要な科目をしっかりと勉強していきましょう。

2年次以上の皆さんは、すでに教職課程の履修を始めている人が多いと思います。これから履修を始める人も含め、しっかりとした目的意識を持って、教職課程の学習を進めて行ってほしいと思います。

2019年度入学生から、教育職員免許法の改正により、全国の大学の教職課程のカリキュラムが改訂されました。本学でも、「道德教育の研究」が「道德教育の理論と実践」に、「特別活動の研究」が「特別活動・総合的な学習の時間の指導法」に、「生活指導の研究」が「生徒・進路指導の理論と実践」に科目名が変わり、これ以外の科目についても、文部科学省が策定した「コアカリキュラム」に即した授業内容に変わることになります。

今日の学校教育は、大きく変化してきています。新しい学習指導要領が改訂・告示され、「主体的・対話的で深い学び」、小学校での「英語（外国語）」の教科化、高等学校英語（外国語）科、地理歴史科、公民科、商業科、情報科等での科目新設・再編など、教員には、これまで以上に高い資質と能力が求められています。

北星学園大学の教員養成の理念は、大学の教育目標である「人間性（キリスト教に基づく人格形成教育）・社会性（協調性や協同性）・国際性（グローバル社会への対応能力）」を、創立者のサラ・C・スミスから継承した教育理念（義務と責任を全うしうる役立つ知識の教授と社会奉仕や対話式の実践的な教育方法）による教育活動の実践を通して育成することを基礎にしています。そして、「自らが時流や利害に流されない独立した人格の形成」、「謙虚に学び続ける姿勢」と「見識と責任の自覚」を持ち、社会に貢献する独立人の育成を目指しています。

すなわち、北星学園大学は、

- ・教職を担うに足る豊かな人間性と、人を育む活動への目的意識・情熱を持ち続ける教員
- ・深い学問的知識と時代の状況の中でその実地的活用・応用力を備え、生涯を通じて学び続ける資質を持った教員
- ・異文化に開かれたコミュニケーション能力を駆使し、協同とチームワークで地域社会に貢献する独立人としての教員

の養成を目指しています。

本学教職部門は、上記の理念とディプロマ・ポリシー、そして、長年の実績・伝統に基づき、学校教育の変化にしっかりと対応していきます。私たち教職部門のスタッフは、本学教職課程を履修する皆さんに、単に教員免許を取得するためだけではなく、「人間として魅力のある教師」、「各学科の専門性に裏付けられた確かな指導力を持った教師」になるために必要なサポートをしていきます。ともに、学んで行きましょう。

北星学園大学教職部門のディプロマ・ポリシー

1. 人を育てる活動に対する情熱や目的意識をいつまでも持ち続けることができ、自分を愛するように児童・生徒や保護者に寄り添い、理解し、連携することに努力を惜しまない教師。
2. 教科専門に関する学問的知識や教育的指導力の研鑽に努め、教師としての教養や技能・実践力を身につけ、責務の自覚を兼ね備えた教師。
3. 総合的な人間力としての主体性や積極性・行動力を発揮し、コミュニケーション能力を駆使して、チームワークや協調性を大切にし、社会に貢献する独立人としての教師。

教職実習準備室の利用について

1. 教職実習準備室の目的

- (1) 教育実習に関する相談
教育実習を中心にその他教職課程に関すること。
- (2) 教職に関する資料の保管・展示・閲覧・貸出し
実習報告集，ビデオや図書，雑誌など。
- (3) 学習活動
教育実習に向けての教材研究や模擬授業の場として利用が出来る。また，教員採用試験対策としての学習や，集団討論の練習等をすることも可能である。

2. 利用時間

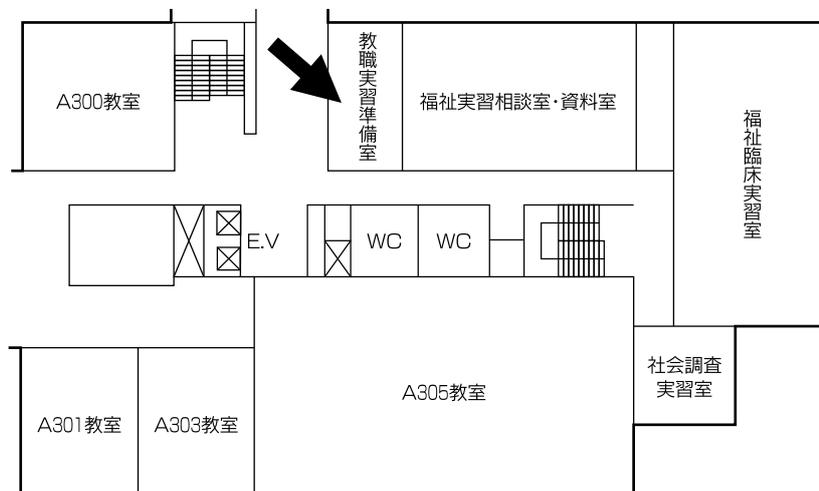
月～金 9：00～18：00

曜日・時間については変更する場合もあるので，教職実習準備室で確認のこと。

相談員：小島理恵子，中村暢子

3. 場所

A館3階



* 教職課程の履修や免許状の取得等に関する相談はA館1階教育支援課窓口へ。